

2017年5月吉日

株式会社博報堂

【Ars Electronica Tokyo Initiative Kickoff Forum 開催のご案内】

Ars Electronica Tokyo Initiative Kickoff Forum ～Create for Tokyo Together -Art×Industry 未来への問いかけ

博報堂とアルスエレクトロニカは共同で、イノベーション創出コミュニティ『Ars Electronica Tokyo Initiative (以下 AETI)』の活動を開始致しました。

Initiative(イニシアティブ)とは、先駆け、率先、第一歩という意味で、AETIは「これからの東京、ひいては日本社会を良くする為に、我々は一体何が出来るのか」をミッションとし、企業・イノベーター・アーティスト等、様々なステークホルダーと未来社会を創り出すアイデアを共創し、社会への実装に向けて活動することを目的とするコミュニティです。

今回の活動のキックオフとして、「Ars Electronica Tokyo Initiative Kick off Forum」を開催いたします。アルスエレクトロニカ総合芸術監督ゲルフリート・ストッカー氏をはじめ、産業界、アート領域のスペシャリストをゲストにお迎えし、「これからの東京を良くする為には何が必要か？」という大きな問いに基づいたトークセッション・パネルディスカッションを行います。

このイベントの開催は、未来社会への「オープン・イノベーション創出」へと繋がる、アート・テクノロジー・社会の視点から未来志向型で捉え直した思考法(アートシンキング)に基づき、多様な視点で創り出されるアイデア・キーワードを共有・発信することが目的です。

参加ご希望の方は、下記『参加方法』に記載のフォームに入力の上、お申し込みください。

【開催概要】

- ・日時：2017年5月25日(木) 15:30～17:30(開場 15:00)
 - ・会場：東京ミッドタウン TOWER 4F カンファレンスルーム9
(〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-1)
 - ・定員：150名(予定/先着順)
- ※席数に限りがございますので、申込状況によってお断りする場合がございます。
- ・参加費：無料
 - ・主催：Ars Electronica Tokyo Initiative
 - ・協力：オーストリア大使館/東京ミッドタウンマネジメント株式会社
 - ・参加方法：締切：5月21日(日)まで

参加ご希望の方は、以下のフォームにご入力の上、お申し込みください。

<https://goo.gl/forms/Vhqq4mka7GmLo6zm2>

ご参加可否はお申し込み内容を事務局にて確認後、

5月22日(月) 17:00までに support@voice-vision.com よりご連絡いたします。

<<※ご登録アドレスはPCメールアドレス、もしくは、support@voice-vision.com メールを受信できる
よう受信ドメインの解除をお願いいたします。>>

【プログラム】

第1部 15:35 ~16:05 トークセッション

テーマ：なぜ今「東京」にイノベーション創出コミュニティが必要なのか

出演：

ゲルフリート・ストッカー氏（アルスエレクトロニカ アーティスティック・ディレクター）

宮澤正憲（博報堂ブランド・イノベーションデザイン代表）

第2部 16:05 ~17:00 パネルディスカッション

テーマ：Art×Industry_未来を創造するアートシンキングの重要性について

出演：

筒井岳彦氏（日本たばこ産業株式会社 執行役員）

村上臣氏（ヤフー株式会社 執行役員 ID サービス統括本部長 チーフモバイルオフィサー）

落合陽一氏（筑波大学 学長補佐・助教 デジタルネイチャー研究室主宰、Pixie Dust Technologies.Inc CEO）

福原志保氏（アーティスト・研究者・開発者）

ファシリテーター：

小川秀明氏（アルスエレクトロニカ ジャパン ディレクター）

田中和子（株式会社ボイスビジョン/エグゼクティブ コミュニティ プロデューサー）

17:00~ 質疑応答 等

*プログラムの内容は予告なく変更する場合がございます。

【参考】

<Ars Electronica (アルスエレクトロニカ) とは>

オーストリア・リンツに拠点を置く、メディアアートの世界最高峰の文化機関。

毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、未来の美術館・学校としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディアアートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、1979年の設立以降、未来のかたちを探求し発信し続けています。

クリエイティブ・シティとして知られるリンツ市のドライビング・フォースとして世界的な先駆モデルと位置付けられています。リンツ市が2009年にEU「欧州文化首都(Cultural Capital)」に、2014年にはユネスコ「創造都市(The Creative Cities City of Media Arts)」に選ばれたことにもアルスエレクトロニカの存在は大きく寄与しています。

Ars Electronica : <http://www.aec.at/>

<アルスエレクトロニカ・フェスティバルとは>

1979年に最初のフェスティバルが開催されて以来、アルスエレクトロニカは「アート、テクノロジー、社会」をテーマに活動領域を拡げています。その中で最も歴史の長いフェスティバルは「POST CITY (2015)」、「Radical Atoms (2016)」などのフェスティバルテーマに、世界的ネットワークから最先端の作品や事例、スピーカーが集まり、毎年注目を集めています。

会場がユニークであるのも特徴的で、既存の建物の新しい使い方の提案や、使われなくなった巨大なタバコ工場をクリエイティブに活用するなど、まちの新しい活用の実験機会にもなっています。

2017年のテーマは「人工知能 AI ~もう一人の私」。2017年9月7日-11日の期間中、人工知能のもたらす現実と未来への展望に総合的に向き合う舞台へとリンツ市は変貌します。文化的、心理学的、哲学的、そして精神的側面から AI を捉えた様々なシンポジウム、展示、パフォーマンス、ワークショップ、そして芸術的分析の数々が展開されます。